

第34回役員会議事録

I 日 時 平成19年4月26日(木) 14時00分～14時40分

II 会 場 本部棟8階経営協議会室

III 出席者 岩崎学長、工藤理事、腰塚理事、泉理事、波多野理事、吉武理事、谷川理事、
山田理事、岸理事

合志監事、吉井監事、水林副学長

IV 配付資料

第33回役員会議事録(案) -----[資料1]
国立大学法人筑波大学における役員の業績勘案率について(案) -----[資料2]
平成19年度監事監査計画 -----[資料3]
役員会及び運営会議の運営方法の変更について(役員会申し合わせ) -[追加資料]

議事に先立ち、岩崎学長から、追加資料に基づき、平成18年度までの役員会及び運営会議の運営における課題と、それを踏まえた平成19年度の両会議の新たな運営方法について説明があり、当該運営方法に基づき両会議を運営していくことが確認された。

V 議 事

1 前回議事録の確認について

第33回役員会議事録(案)は、異議なく了承された。

2 退職役員の業績勘案率について

川崎組織・人事部長から、資料2に基づき、退職役員の業績勘案率の評価を行うに当たつての基本的考え方及び平成18年度末で退職した2名の役員の業績について説明があり、審議の結果、原案どおり両名の業績勘案率を「1.0」とすることが承認された。

3 平成19年度監事監査計画について

合志監事から、資料3に基づき、平成19年度監事監査の基本方針、重点取組施策、監査項目及び監査スケジュールについて説明があり、併せて同監査に対する協力要請があった。

次いで、吉井監事から、同監査の実施に当たっては、新財務会計システムの稼動を踏まえた観点からも、業務運営がどのように行われているかを確認したい旨の発言があった。

関連して、泉理事から、新財務会計システム(FAIR)については、順調に稼動しているが、実務上の課題も報告されてきており、同監査により改善点を指摘願いたい旨の発言があった。

また、岩崎学長から、同システムの運用に関し、職員から出される有用な情報を的確に吸い上げる体制を構築することが重要である旨の発言があった。

次回日程 5月24日(木) 14時00分～ 本部棟8階経営協議会室

以 上